

台本トラック5：拘束と溺愛

「貴女に触れていると、すぐにココが熱を帯びてしまう」

(布の擦れる音)

(ベッドの軋む音)

「……ね？」

「もうこんなに、大きくなっているでしょう？」

「我慢するのは得意ではありませんが」

「その方が美味しいなら、僕は幾らでも我慢しますよ？」

「……少し、舐めてもらえますか？」

(布の擦れる音)

(ベッドの軋む音)

「……んん……」

「そうです……歯が当たらないように……」

「……こっちを見て」

「堪らないですよ、その表情……」

「その愛らしい唇で、精一杯僕のモノを咥えて」

「はあ……ん……」

「……っ……」

「……ホラ、奥まで咥えてください」

「ふふっ……」

「……お上手ですよ」

「……もう、大丈夫です」

「入れましょうか」

「……コレ、使いますよ？」

「何、って……」

「見たことがありますよね？」

「包帯」

「どうするの……？」

「……こうするんですよ」

(包帯を縛る音。布が少しずれて、キュッと擦れる)

「縛られて、どんな気分です？」

「僕は、良い表情が見られて幸せです」

「だって、期待しませんか？」

「これから、僕に何をされるのか」

「ああ、忘れるところでした」

「頭、持ち上げてください」

包帯を巻く音と縛る音。これも同様。)

「目隠ししましょうね」

「見えないって、興奮しませんか？」

「縛られて目隠しされて……」

「ちゅっ……ピチャ……ちゅっ」

「ホラ、聞こえますか？」

「……こんなに濡れてる」

「んん……ちゅうてちゅう……はあ……ん……ピチャ……」

「もっと、感じてください」

「今よりずっと、グチャグチャになるまで……」

「ちゅっ……ちゅっ……」

「……気持ちいいでしょう？」

「拘束されて、見えなくされて……」

「耳まで、こんなに攻められて……」

「そうだ」

「もう一回、イキましょうか？」

「クリはもっと、弄って欲しそうですよ？」

「きっと、すぐにイっちゃいますね」

「声が、大きくなってるから」

「息も荒いしね」

「腰も浮いてる」

「もっと、擦ってあげるよ」

「ふふっ……」

(布の擦れる音)

「気持ちいいね」

「ホラ、もっともっと」

「クリが、真っ赤になってる」

「擦られたから？」

「それとも、気持ち良いから？」

「ねえ……いっぱい、感じて？」

「良いよ、イっても」

「いく瞬間、ちゃんと見ていてあげる」

(布の擦れる音)

(ベッドの軋む音)

「……イっちゃったね」

「次は、僕の番だよ」

(グチュグチュ音。挿入。)

「……はあ……ん……つ……」

「凄いね……トロトロで、グチョグチョだ……」

「挿れただけで、イきそうになる……」

「気持ち良かったんですね」

「嬉しいな……」

「ちゅっ……ん……ちゅう……」

「……そんなに、締め付けないでください」

「もっと、味わいたいですから」

「貴女の中を」

「ちゅっ……ちゅっ……」

(ベッドの軋む音)

「愛してる」

「誰にも、渡しませんよ？」

「僕のモノ、ですかね？」

「……ヤキモチ焼きなんです」

「この先ずっと離しませんから」

「覚悟しておいてくださいね？」

「ちゅっ……んんっ……」

(布の擦れる音)

「もっと奥まで……」

「良いですよね？」

「はあ……ん……」

「気持ち良すぎて……」

「ずっとこうしてみたい……」

「ちゅう……ピチャ……ちゅっ……ちゅっ……」

(ベッドの軋む音)

(布の擦れる音)

「ずっとこのまま」

「繋がってみたい」

「もっと僕を感じて……」

「僕のことを、愛して……」

「……はあ……つ……ん……ん……」

「こんなに締めるなんて……」

「中に出して欲しい、んですよね……？」

「僕の精液、ちゃんと受け止めてください」

「グチャグチャの、ココで」

(ベッドの軋む音)

(布の擦れる音)

「……っ……出します、よ！」

「……うあ……つ……はあはあ……つ……」

「はあ……」

「ちゅっ……」

「気持ちよかった……ありがとう」

「……いけない、包帯を。外すのを忘れないうちに……」

「本当はね？ もっとしたいことがあるんですよ」

「貴女のことを、もっと気持ちよくしたい」

「……うーん。そうですね」

「大人のオモチャ、とか？」

「あははっ。顔が赤いですよ？」

「今度、使いましょうか」

「ちゅっ……ぴちゃ……ちゅ……ちゅう……ちゅっ……」

「もっと、もっと……」

「ちゅっちゅっ……」

「貴女のよがる姿が見たい」

「ぴちゃ……ぴちゃ……ちゅっ……」

「僕に溺れる姿が見たい」

「ちゅ……ちゅっちゅっ……んん……んっ……ちゅ……」

「だから沢山……」

「……愛し合いましょう？」